

第3次府中市生涯学習推進計画の進捗状況（重点施策）について

No.	施策番号	重点施策	新規で実施する取組・強化すべき取組	計画期間中の取組内容	担当課	自己評価	現状	課題	コロナの影響
1	基本施策 1(1)	新たな参加を促すための学習環境づくり	取組 1 生涯学習自体の普及促進を目指した新たなテーマの事業への取組	市民の多様なニーズや新たな社会変化に対応した生涯学習テーマの設定・企画	文化生涯学習課	C：一部達成できなかった	多様なニーズに対応するため、生涯学習センターで多種多様な講座を展開したが、新たなテーマにはあまり積極的に取り組むことはできなかった。	生涯学習センターの講堂は定員290名であるが、有料の講堂講座は参加者数が100名以下のことが多い。指定管理者制度では、有料が基本となるため実験的、先進的な講座は企画しにくい。また、ニーズを把握すること自体も課題である。	△：やや影響を受けた
2	基本施策 1(1)	新たな参加を促すための学習環境づくり	取組 2 生涯学習活動に未参加の方、新しい住民向けの事業への取組	気軽に参加できる講座（無料で体験できる、予約なしで参加できるなど）	文化生涯学習課	B：おおむね達成	生涯学習センターの講堂講座で無料講座については、申込み不要とした。 無料で小学生が参加できる講座「子どもCafé Art&Eats」を実施した。	生涯学習センターの無料講座を増やすことは、指定管理者の利益にならないことも多いため、バランスが難しい。	△：やや影響を受けた
3	基本施策 1(1)	新たな参加を促すための学習環境づくり	取組 3 参加率が低いライフステージを取り込む事業への取組	若年層・就労者層向け事業の企画（能力拡大につながる夜間帯の事業など）	文化生涯学習課	E：実施していない	若年層・就労者層向けに対象を限定した事業・企画はできていない。	生涯学習センターの交通利便性がよくないため、夜間の企画が難しい。	×：影響を受けなかった
4	基本施策 2(1)	生涯学習と地域還元をつなげる事業の実施	取組 1 学習（学ぶ）と還元（返す）をセットとした事業への取組	公共施設での多様なイベント、地域還元におけるボランティア活動とセットとなった生涯学習事業の実施	文化生涯学習課	C：一部達成できなかった	生涯学習センターでのボランティアによる講座支援の活動のほか、生涯学習フェスティバルや学び返しフェスタでは、市民団体が主体となってワークショップなどの事業を行った。	生涯学習センター内での活動だけでなく、他の公共施設や地域にまで拡張して行うようなボランティア活動とのセットとなった生涯学習事業の企画は難しい。	△：やや影響を受けた
5	基本施策 2(1)	生涯学習と地域還元をつなげる事業の実施	取組 1 学習（学ぶ）と還元（返す）をセットとした事業への取組	生涯学習活動を行っている人の地域に「返す」活動を推進する制度づくり（生涯学習ファシリテーター・サポーター、生涯学習ボランティア、社会教育関係団体（自主グループ）の活用など）	文化生涯学習課	C：一部達成できなかった	生涯学習センターでの生涯学習ファシリテーター・サポーター養成講座は受講生が多く、修了生が「学び返し実践スクール」としてワークショップ等の講師をするイベントを行い、また、定期講座として市民企画講座の講師を行うシステムの確立ができた。	生涯学習サポーターは登録者数及び利用実績も減少している。社会教育関係団体も減少傾向にある。市への登録制度のあり方と、市内全域に「返す」手法について、市が把握する方法も含めて検討が必要である。	△：やや影響を受けた
6	基本施策 2(1)	生涯学習と地域還元をつなげる事業の実施	取組 2 市民が学習の成果を地域に還元する契機となる事業への取組	生涯学習フェスティバルなどの全市的イベント及び生涯学習系イベントでの市民や市民団体との連携	文化生涯学習課	B：おおむね達成	生涯学習フェスティバルの実行委員は公募し、生涯学習ファシリテーター、生涯学習ボランティア、当日ボランティアも運営に参画するなど、多くの市民・団体が関わるイベントとなっている。	生涯学習フェスティバルの実行委員会では、世代の特性の違いから集まる日時の設定が難しい面がある。それぞれの市民の状況に応じた関わり方を模索する必要がある。	△：やや影響を受けた
7	基本施策 2(1)	生涯学習と地域還元をつなげる事業の実施	取組 2 市民が学習の成果を地域に還元する契機となる事業への取組	ラグビーワールドカップ2019、東京2020大会などの国際的なイベントや国際理解につながるイベント、府中の歴史文化や伝統芸能を活用したイベントなど、地域全体を巻き込む大規模イベントの関連事業との連携・協働とその後の取組	文化生涯学習課	C：一部達成できなかった	R1からR3まで平和啓発事業の一環として、東京2020大会に関連してオリンピックによる講演会やオリンピック・パラリンピック関連資料の展示などを行った。 R5から生涯学習フェスティバルを「市民文化の日」に合わせて実施している。 R6は新府中市史編さん事業の完了を記念し、生涯学習センターにて全5回の講座を行った。	大規模イベントと関連して事業を行うための企画を推進する特別な体制を構築できなかった。市民が学習成果を地域に還元することにつなげるまでの取組にはなっていない。	○：大きく影響を受けた
8	基本施策 3(1)	生涯学習の広報の強化	取組 多様な媒体を使った広報事業への取組	駅周辺施設、商業施設などでのプロモーションの展開	文化生涯学習課	C：一部達成できなかった	生涯学習フェスティバルの周知の映像を府中駅前のくるるビジョンにて放映したほか、定期講座の募集、生涯学習フェスティバル、家庭教育学級等の事業についてちゅうバス車内広告を掲出した。	市街地での本格的なプロモーション活動は実施できていない。駅周辺施設や商業施設だけでなく、市民に届く広報について検討が必要である。	×：影響を受けなかった
9	基本施策 3(1)	生涯学習の広報の強化	取組 多様な媒体を使った広報事業への取組	ラグビーワールドカップ2019、東京2020大会など地域全体を巻き込む大規模イベントの関連事業の場を使った広報活動	文化生涯学習課	E：実施していない	大規模イベントの関連事業の場を使った新たな広報活動は行っていない。	大規模イベントの関連事業の場を使っの広報活動を推進する体制が構築できなかった。	△：やや影響を受けた

No.	施策番号	重点施策	新規で実施する取組・強化すべき取組	計画期間中の取組内容	担当課	自己評価	現状	課題	コロナの影響
10	基本施策 3(1)	生涯学習の広報の強化	取組 多様な媒体を使った広報事業への取組	生涯学習普及のための一元的なデジタル広報体制の整備（ＳＮＳの活用、社会教育関係団体等の「学び返し」活動の紹介、学習活動（学ぶ）と地域に還元する活動（返す）をマッチングさせるホームページの作成などを含む）	文化生涯学習課	C：一部達成できなかった	生涯学習センター指定管理者による「ふちゅう生涯学習情報局」のホームページの開設。生涯学習センターのFacebook、Instagramのアカウント開設。	生涯学習普及のための一元的なデジタル広報体制は未確立で、学習活動と地域に還元する活動をマッチングさせるようなホームページは作成できていない。	×：影響を受けなかった
11	基本施策 3(1)	生涯学習の広報の強化	取組 多様な媒体を使った広報事業への取組	地域のテレビなどとの連携の充実	文化生涯学習課	D：達成できなかった	地域のテレビと連携はしていない。	地域のテレビへの情報提供。	×：影響を受けなかった

第3次府中市生涯学習推進計画の施策目標（指標）について

No.	指標名	指標の説明	計画時数値（平成29年度）	目標値（令和8年度）	現状値（令和6年度）
1	生涯学習講座への参加者数	生涯学習講座の年間の延べ参加者数です。増加を目指します。	70,187人	83,000人	61,661人
2	「学び返し」認知度	市民による「学び返し」の認知度です。上昇を目指します。	5.7%	30%以上	今後アンケート調査で把握します。 世論調査での参考値：H29…13.1% R6…15.0%
3	生涯学習サポーター登録者数	市民自らが講師となり市民に教えるサポーター活動をしている人数です。増加を目指します。	75人	100人以上	53人
4	生涯学習センターの利用者満足度	生涯学習活動の拠点である府中市生涯学習センターの利用者の満足度です。90.0%以上の維持を目指します。	91.0%	90.0%以上	94.0%
5	市の生涯学習に関する情報を市からの情報発信により取得できている市民の割合	市の生涯学習に関する情報を市からの情報発信により取得している市民の割合です。90.0%以上を目指します。	79.1%	90.0%以上	今後アンケート調査で把握します。